

## ホッケーU18日韓交流試合戦評

期間：平成26年11月18日（火）～11月21日（金）

会場：山梨学院ホッケースタジアム

### ○第1戦 日時：2014年11月18日（火）14：00開始

**試合結果 日本 2－2 韓国 ※前半（日本1－0韓国）**

日韓交流戦、初戦は日本のパスバックで試合開始。韓国のハーフプレスに対し、日本は落ち着いたボール回しで、ライトを主体に積極的に攻撃を仕掛ける。3分、6分、7分と決定的な得点場面をつくるが相手GKのファインプレーでゴールを割ることができない。その後も日本ペースで試合が進み、20分富田（丹生）が獲得したPCを渡辺（丹生）の強烈なヒットシュートが相手スティックあたり、待望の先取点を挙げる。失点した韓国は前線からプレスを仕掛け攻撃を試み、一進一退の攻防が繰り広げられるが互いに得点チャンスを作れず前半を終了する。

後半開始37分、日本は判断ミスからPCを奪われ、相手ドラックシュートを一端GK中上（丹生）がはじくもリバウンドボールを決められ、1－1の同点となる。韓国46分カウンター攻撃からPSを獲得、難なく決め1－2と韓国にリードを許す。同点に追いつきたい日本は51分PC、53分・54分FG、56分・61分PCのチャンスをつくるが得点できず。しかし61分渡辺がレフトバックラインにドリブル、最後は松山（丹生）に合わせ2－2の同点とする。その後は勝ち越し点を狙いに互いに気力を振り絞り攻撃するが得点に至らず、最終的には2－2の同点で試合は終了した。

※シュート数：日本－11、韓国－5

※PC数：日本－4、韓国－1

※通算戦績：1戦中（1分）

### ○第2戦 日時：2014年11月19日（水）14：00開始

**試合結果 日本 3－1 韓国 ※前半（日本1－1韓国）**

第2戦。韓国の積極的な攻撃に対し、日本はハーフプレスでカウンター攻撃からゴールを狙う試合展開となる。韓国12分PCはGKの塚田（今市）は好セーブ。日本12分ライト側から攻め、最後は上澤（沼宮内）が押し込み先制する。対する韓国はさらに激しい攻撃に転じ、34分中央からの打ち込みからタッチシュートで同点とする。

後半、37分渡辺（丹生）の得たPCを稲山（天理）が決め1－2とする。その後は一進一退の気迫あふれる試合が展開。日本は再三の得点チャンスを作り、56分相手サークルで渡辺のパスしたボールが相手選手のスティックにあたり、そのままゴール、1－3とリードを広げる。対する韓国は怒濤の反撃。韓国63分PCからPSを獲得。これを交替したGKの中上（丹生）が反応よくファインセーブ。ここで追加点を許さなかった日本は勢いにのり、終始安定した守備により1－3で勝利した。

※シュート数：日本－7、韓国－5

※PC数：日本－1、韓国－3

※通算戦績：2戦中（1勝1分）

○第3戦 日時：2014年11月21日（金）10：00開始

試合結果 日本 3－2 韓国 ※前半（日本2－2韓国）

日韓交流最終戦（3戦目）。日本は立ち上がりの動きが良く5分に渡辺（丹生）の右からのセンターリングに鈴木（岐阜総合）が鮮やかなタッチシュートを決め先制点を挙げる。今交流戦まだ勝ち星のない韓国は10分、中央からの打ち込みにうまく合わせ同点とする。波に乗った韓国は14分にもリバウンドボールを押し込み逆転に成功する。何とか同点に追いつきたい日本は26分にP Cを獲得。これを富田（丹生）がヒットシュートで2－2の同点とする。その後は一進一退の攻防が繰り広げられるが前半は2－2で終わる。

後半、日本は44分にP Cを獲得するがG Kにはじかれる。46分、47分、55分には速攻から得点チャンスを作るがゴールを割ることができない。韓国59分にP Cを獲得するが得点することはできない。そして日本66分渡辺（丹生）が右サイドからスピードに乗ったドリブルで3人交わしパス、これを千原（横田）が相手G Kがでたところを冷静にシュートし3－2と逆転する。結局これが決勝点となり日本は勝ち越して最終戦終えた。

※シュート数：日本－10、韓国－7

※P C 数：日本－2、韓国－1

※通算戦績：3戦中（2勝1分）